

2013.1.28

「安倍総理の所信表明 まっとうな政治を行う！」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。今日は1月28日、月曜日です。
先ほど、国会で安倍総理の所信表明演説がありました。非常に感慨深いものがあります。

私は6年前に参議院に初当選しましたが、その際にも安倍総理の所信表明演説を聴いたのです。その前に行われた参議院選挙では自民党は大敗し、与野党が逆転しました。そこから自民党の凋落は始まったのです。そして、安倍総理はこの所信表明の直後に体調を崩され、退陣してしまいました。あの頃の参議院の民主党議員の意気の高まりはすごいもので、すさまじい野次や罵声が安倍総理に対し、投げかけられていました。私も当時は、当選したばかりの新人議員ですから、まあなんとすごい野次を飛ばす人達がいるものだなあ、とあきれかえっておりました。

それから6年を経て、安倍総理が再び所信表明演説に立ちました。今回の衆議院選挙では、自公で3分の2の議席をとる大勝をしています。ですが、参議院においては6年前と同様の議席配分で、民主党が圧倒的に多いのです。ですから、今回の安倍総理の所信表明演説では、民主党はどのような態度をとるのか楽しみにしながら見ておりました。

たしかに、野次を飛ばす方も少しはいらっしゃいましたが、6年前と比べて非常におとなしかったです。やはり、この前の衆議院選挙で民主党が断罪され

たことが大きく響いているようです。

ですが、これはこれでいいことなのです。これから、安倍総理のもとで経済のみならず、外交・安全保障を立て直していくのです。自民党のためでなく、国民の為にやっていくのだから、政局争いで政治が停滞することは避けなければなりません。与野党協力して頑張っていかなければならないのです。

安倍総理は所信表明で、まっとうな政治を取り戻したい、ということをおっしゃっていました。実は、総選挙の前から、民主党の一部の方とは、しばらくは参議院でも与野党逆転の状況が続いていきますから、まっとうな政治をとりもどすために政局で動くのは止めよう、ということ水面下で話していました。民主党の議員の中にも、コンクリートから人へ、というキャッチフレーズは間違っていたのではないか、デフレを脱却するためには必要な公共工事を行っていかなければならない、と考える方もいらっしゃるのです。

やはり、今回の所信表明演説でも、まっとうな政治を取り戻す、ということが言及されました。水面下で話し合ってきたことが、ついに政策的に実現されるときがきた、ということです。民主党の方々には、政局で動くのではなく、是々非々の審議姿勢をお願いしたい、と思っております。

今国会で、安倍総理の真価が試されるのです。私もしっかり安倍総理を支えていきたい、と思っております。またこれからも、ご支援をよろしくお願い致します。本日も御覧頂きありがとうございました。